

八 枝

第2号

北九州市立八枝小学校

【学校教育目標】

思いやりの心もち、自ら学び考える、
心身ともに健康な児童の育成

ようこそ 八枝小学校 本格始動です

4月11日(金)、第47回入学式が挙行されました。新1年生82名が、元気いっぱい、笑顔いっぱいで入学しました。今年度も6年生が在校生代表として、直接、お祝いのメッセージを伝えたり、校歌を紹介したりしました。全校児童507名で令和7年度八枝小学校のスタートです。本年度も、子どもたちにとって充実した一年になるように教職員一同頑張っています。ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 教職員の紹介

校 長	教 頭	教 務 主 任
あおぞら1組	あおぞら2組	特別支援教育 学習支援員
おひさま1組	おひさま2組	
1 の 1	1 の 2	1 の 3
2 の 1	2 の 2	2 の 3
3 の 1	3 の 2	3 の 3
4 の 1	4 の 2	4 の 3
5 の 1	5 の 2	5 の 3
6 の 1	6 の 2	
専 科 指 導	専 科 指 導	栄 養 教 諭
養 護 教 諭	事 務 職 員	事 務 補 助
事 務 補 助	S S S	校 務 員
外 国 人 A L T	新 採 指 導	学 校 図 書 館 司 書
スクールソーシャルワーカー	スクールカウンセラー	よろしく願いいたします。

※ 特別支援教育コーディネーターは、

が担当いたします。

あおぞら学級とおひさま学級について

折に触れ、お話をさせていただいておりますが、今年もご説明させていただきます。本校には、「あおぞら学級1組・2組」と「おひさま学級1組・2組」の4つの特別支援学級があります。

人には、個性や特性があり、そして、自分にあったペースで成長していきます。一人一人の得意なことと苦手なこと、好きなことと嫌いなことが違います。これは当たり前のことです。特別支援学級では、子どもたち一人一人の特性に合わせて学習や生活を進めています。「あおぞら学級」は、少ない人数の静かな教室で勉強します。「おひさま学級」は、自分のペースでゆっくりと勉強します。支援学級以外でも、交流の学級でも勉強します。その交流学級で学ぶことが、あおぞら学級、おひさま学級の子どもたちにとっても、交流学級の子どもたちにとっても、互いに認め合い、共に成長する大切な機会となっています。どうぞ今後とも温かい心と目で、八枝小学校の子どもたちを見守り続けてください。よろしくお願いいたします。

裏面もご覧ください。

5月の行事予定

2	金	歓迎集会・遠足
7	水	子ども読書の日の取組 個人懇談会(希望者)
8	木	個人懇談会(希望者)
9	金	個人懇談会(希望者)
12	月	スクール救命士(6年生)
13	火	心電図検査(1年生、対象者) 委員会活動
14	水	内科検診(4年生、6年生)
15	木	避難訓練(火災) 色覚検査(希望者)
16	金	社会科見学(4年生) 色覚検査(希望者)
19	月	色覚検査(希望者)
20	火	クラブ活動
21	水	内科検診(2年生、3年生)
22	木	聴力検査(5年生)
23	金	聴力検査(3年生)
27	火	代表委員会 リコーダー講習会(3年生)
28	水	内科検診(1年生、5年生)
29	木	家庭学習がんばり期間 全校5校時下校 自然教室説明会 聴力検査(2年生)
30	金	家庭学習がんばり期間 全校5校時下校 聴力検査(1年生)

八枝小学校

専科指導・持ち合い授業について

★ 専科指導

八枝小学校では、次の教科及び学年で専科指導を実施しています。専門的に各学級の学習に携わります。

3年 音楽(教材による週1回程度)

4年 理科(単元による)

5・6年 理科 家庭科

★ 持ち合い授業

持ち合い授業とは、同じ学年の教員が担当する教科を決めて指導する学習形態です。1つの学級に複数の教員が関わることで、一人一人の児童のよさを多面的に見ることができます。また、より分かる授業を行うことにも繋がります。

複数の教員で指導することの意義は、以下のよう
に示されています。

- 1 授業の質向上
- 2 小・中学校間の円滑な接続
- 3 多面的な児童理解
- 4 教師の授業準備時間の確保

(文部科学省 R5.3)

なお、1・2年生は、1日の学校生活を担任と一緒に共に過ごしなが
ら、学校生活の基礎基本に慣れ親しんだり、学んだりすることが大切な学
年です。そのため、担任の指導を中心として、指導の充実を図っていきま
す。3年生も、子どもたちの様子を見ながら、徐々に導入していきます。

児童の心のケアを目的とした「心の健康観察」の継続実施について

昨年度より、北九州市では、児童生徒の心をケアする取組の一環として、児童生徒の心の状態を日々観察するアプリ「心の健康観察」の活用をしています。今年度も家庭と学校とのつながりを大切にしながら、児童の不安に寄り添い、心のケアを第一に、サポートできる体制を整えてまいります。つきましては、今年度も引き続き、「心の健康観察」を活用し、児童の言動や教職員の目ではわからない小さなSOSを把握し、支援が必要な児童の早期発見し対応してまいりたいと思います。